



AKITA

[9月]

県内経済

概況

県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるが、全体として厳しい状況が続いている

電子部品、機械金属は弱い動きが続いているほか、木材の生産も大幅に落ち込んでいる。建設は、公共工事が前年を上回ったものの、住宅着工は減少傾向が続いている。個人消費は弱いながらも持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

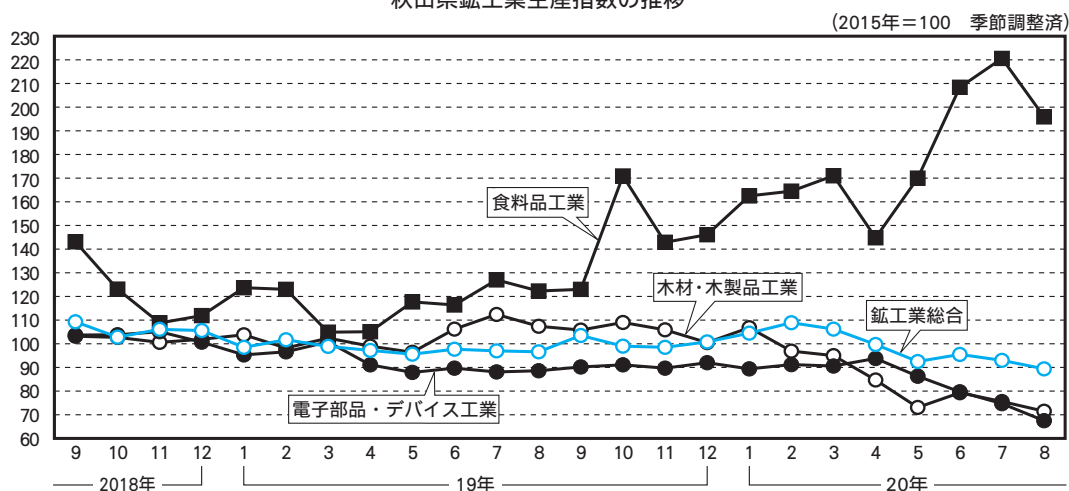
産業別の動向では、電子部品の生産額は、次世代通信規格「5G」向けが堅調に推移しているものの、車載向けの低迷が続き、5か月連続で前年を下回った。機械金属の生産額は、8か月連続で前年を下回ったものの、輸送機械は海外での需要回復を受けて徐々に持ち直しつつあるなど回復傾向にある。木材の生産量は、普通合板（8月）、製材品ともに6か月連続で前年を下回り、生産調整が続いている。公共工事請負額は、3か月ぶりに前年を上回ったが、年度累計は小幅前年割れにとどまった。地元大手（12社）の建設受注額は、官公庁工事、民間工

事ともに振るわず、3か月連続で前年を下回った。住宅着工は、減少傾向が続いている。個人消費は、新車乗用車販売台数の低迷が続く一方、小売店販売額（8月）が4か月連続で前年を上回り、全体として弱いながらも持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率は前月と同水準の1.23倍となった。新規求人数は前年比3.3%減となり、17か月連続で減少した。事業主都合離職者数は前年比21.7%増となり、6か月連続で前年を上回った。

企業倒産件数は2件、負債総額は4,300万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

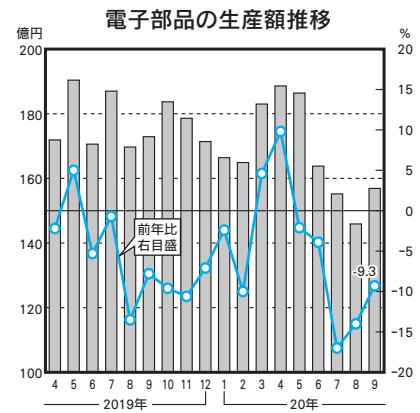
## 電子部品

生産額、5か月連続で前年比減少

9月の生産額は前年比9.3%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。大手メーカーの新機種が発表されたスマートフォンをはじめとする「5G」関連の製品は堅調に推移しているものの、車載向けは低迷から脱しておらず、全体の生産額は依然低い水準にとどまっている。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルおよび半導体素子は減少が続いているが、長らく低迷が続いていた産業向け液晶パネルは底を打った感がある。

なお、7-9月期は前年同期比13.5%、2020年度上半期は同6.2%、それぞれ減少した。



(当研究所調べ、県内4社)

## 機械金属

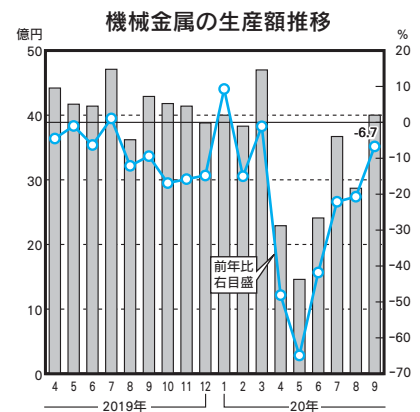
生産額、前年比減少続くも回復傾向

9月の生産額は前年比6.7%減となり、8か月連続で前年実績を下回ったものの、減少幅は縮小しており、金額的にも回復傾向にある。

ウエイトの高い輸送機械は、海外での需要回復を受けて徐々に持ち直してきている。金型は回復傾向にあるが、建機部品、製鋼品は一進一退の動きが続いている。

公共工事関連では、橋梁・鉄骨は減少が続いているものの、水道部品は回復の兆しがみられる。

なお、7-9月期は前年同期比16.4%、2020年度上半期は同34.1%、それぞれ減少した。



(当研究所調べ、県内8社)

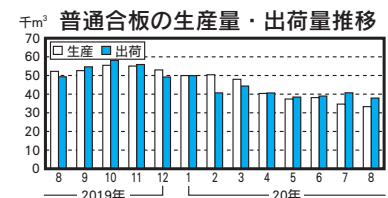
## 木材業

荷動きの停滞と生産調整続く

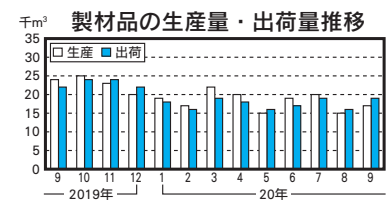
全国的に、新設住宅着工戸数の減少が続く中、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、荷動きの停滞とメーカーの生産調整が続いており、本県でも依然好転の兆しが窺えない。

8月の普通合板は、生産量が前年比36.2%減と6か月連続で減少し、出荷量も同23.1%減と11か月連続で前年を下回った。一方、メーカーによる生産調整（減産）の効果から、在庫量は同3.9%減と7か月ぶりに前年比マイナスに転じた。

9月の製材品は、生産量が前年比29.2%減と6か月連続で前年を下回り、出荷量も同13.6%減と8か月連続で減少した。在庫量は同6.6%増と15か月連続で前年を上回った。



資料：秋田県農林水産部林業木材産業課



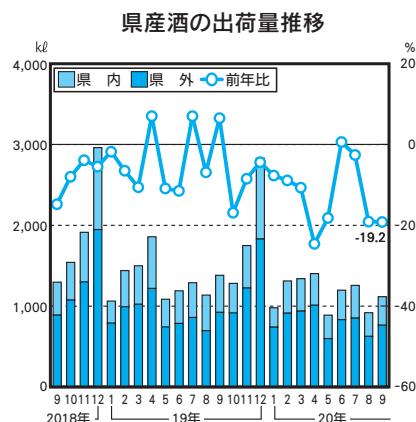
資料：農林水産省「製材統計」

## 酒造業

出荷量、前年比大幅減が続く

9月の清酒出荷量は、前年比19.2%減と3か月連続で前年を下回った。全国的に厳しい残暑となった影響から需要が縮小したほか、前年に消費税率引上げ前の駆け込み需要が生じた反動もあり、大幅な減少が続いた。出荷先別では、県内向けは同23.1%減、県外向けも同17.3%減となった。県外の主な出荷先別では、北海道が同15.6%減、東北5県は同21.7%減、東京も同19.9%減となった。

種類別では、普通酒は前年比23.4%減、特定名称酒は同13.2%減となった。特定名称酒の内訳では、吟醸酒が同5.1%減、純米酒は同16.1%減、本醸造酒も同34.3%減となった。



資料：秋田県酒造組合

## 建設業

公共工事 国、県、市町村等が増加し、3か月ぶりに前年比増加

9月の公共工事請負金額は、国、県、市町村等が増加し、前年比40.2%増と3か月ぶりに前年を上回ったが、年度累計実績は前年同期比0.2%減と小幅前年割れにとどまる。

一方、地元大手12社の9月の新規受注額は、前年比6.4%減の2,131百万円と3か月連続で前年を下回った。うち官公庁工事は、公立学校施設改修等の大口受注があり建築が前年実績を上回ったものの、土木が前年を下回り、合計で同3.0%減となった。民間工事は、土木、建築とも前年実績に及ばず同15.3%減だった。年度累計の受注実績は、前年同期比23.9%減と依然前年を下回っている。

公共工事前払金保証実績

(単位: 件、百万円、%)

区分	9月	前年比	4~9月	前年同期比
件数	382	26.1	1,885	2.8
請負金額	20,605	40.2	115,675	△0.2

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位: 百万円、%)

区分	9月	前年比	4~9月	前年同期比
官公庁	1,598	△3.0	10,965	△21.0
民間	533	△15.3	2,657	△33.8
合計	2,131	△6.4	13,622	△23.9

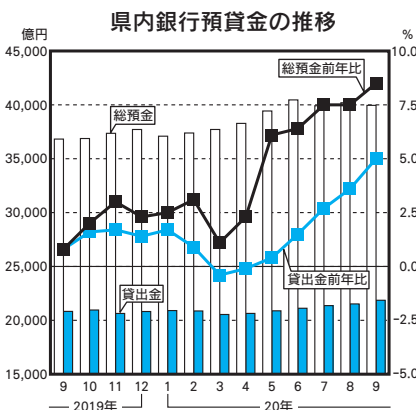
(当研究所調べ、県内12社)

## 金融

預金、貸出金とも前年比増加幅が拡大

9月末の県内銀行の預金は、前月末比242億円減少したが、前年比では8.5%の増加となった。貸出金は、前月末比340億円増加し、前年比でも5.0%の増加と5か月連続で前年を上回った。新型コロナウイルス感染拡大の影響により資金需要が高まっているほか、一部企業で手元資金を厚くする動きがみられ、預金、貸出金とも前月に比べ伸び率が拡大した。

9月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は2件(前年比2件減)、負債総額は4,300万円(同93.7%減)となった。ともに9月では1971年の集計開始以来、2018年(倒産件数1件、負債総額1,900万円)に次いで2番目に低い水準となった。



資料：秋田県銀行協会

## 住宅着工

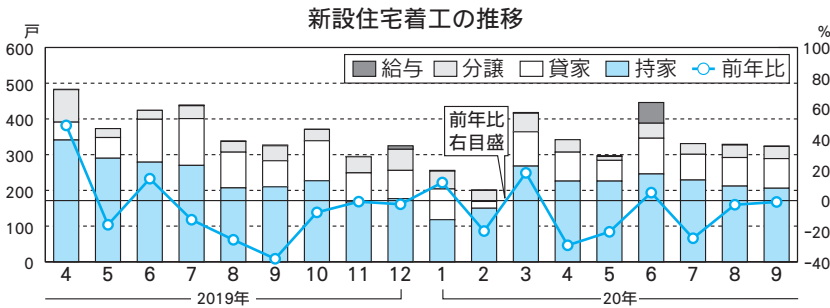
### 着工戸数、減少傾向が続く

9月の県内新設住宅着工戸数は、324戸（前年比3戸減、0.9%減）であった。貸家は増加したものの、持家、分譲住宅、給与住宅が減少し、3か月連続で前年比減少となった。

利用関係別では、持家が206戸（前年比4戸減）、貸家が83戸（同10戸増）、分譲住宅34戸（同8戸減）、給与住宅1戸（同1戸減）となった。

持家は、2か月ぶりに前年を下回った。貸家は、北秋田地域や秋田市、横手市などで民間の賃貸住宅が増加し、4か月ぶりに前年を上回った。分譲住宅は、2か月ぶりに前年を下回った。

地域別では、県北は持家、貸家、分譲住宅の着工が増加し、前年を上回った。県央は持家、貸家、分譲住宅、県南は持家と貸家の着工が各々減少し、前年を下回った。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向 (単位：戸、%)

区分	2020年9月	前年比	20年1~9月	前年比
県北	93	31.0	646	0.2
県央	161	△12.5	1,594	△6.3
県南	70	△2.8	704	△19.2
合計	324	△0.9	2,944	△8.5

資料：秋田県建築住宅課

## 個人消費

### 弱いながらも持ち直しの動き

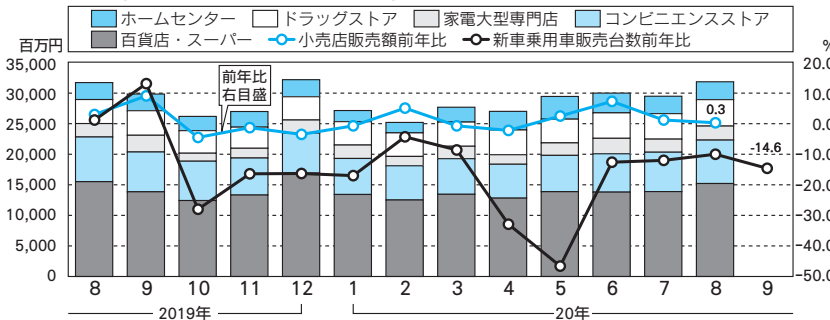
8月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、合計で前年比0.3%増となり、4か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストア（同2.8%減）などで減少したものの、ドラッグストア（同8.9%増）、ホームセンター（同5.6%増）、家電大型専門店（同4.5%増）で増加した。

百貨店・スーパー販売額（全店）は、前

年比1.9%減となった。衣料品は、一般的に振るわず同18.0%減と2か月連続で前年を下回った。飲食料品も、同0.4%減と5か月ぶりに前年を下回った。

9月の新車乗用車販売台数は、前年比14.6%減の3,415台となった。登録車、軽乗用車ともに減少し、12か月連続で前年を下回った。

小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

9月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	3,415	△14.6
登録車	1,911	△15.1
普通車	785	△21.7
小型車	1,003	△11.2
輸入車	123	2.5
軽乗用車	1,504	△14.1

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標（前年比）(単位：%)

区分	6月	7月	8月
①消費者物価指数	△0.2	△0.2	0.0
②勤労者名目賃金	△9.8	0.4	4.3

資料：①秋田県（総合指数、秋田市）  
②秋田県（事業所規模5人以上）

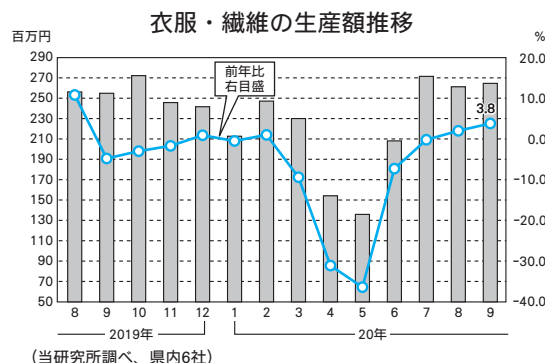


## 衣服・繊維

### 生産額、2か月連続で前年比増加

9月の生産額は、前年比3.8%増となった。一般衣料は減少が続いているものの、医療・衛生関連商品が増加し、2か月連続で前年を上回った。

受注は、先行きの不透明さから、各アパレルメーカーとも定番品の動きが鈍く、3か月連続で前年を下回った。



## 雇用

### 有効求人倍率、前月比横這いの1.23倍

9月の有効求人倍率は、前月と同水準の1.23倍となった。常用の内訳では、一般は前月比0.03ポイント上昇の1.23倍、パートは同横這いの1.18倍となった。求人が求職を上回って推移しているが、新型コロナウイルス感染症の影響から改善の動きが弱まっている。

新規求人数は前年比3.3%減となり、17か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同31.1%減となった。「情報通信機械」、「繊維」で増加したものの、「電子部品・デバイス・電子回路」、「木材・木製品」などで二桁の減少率となった。非製造業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

業は同0.1%増となった。「生活関連サービス、娯楽」、「運輸、郵便」などで減少したものの、「情報通信」、「医療、福祉」などで増加した。

新規求職者数は前年比9.6%減と、12か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は、前年比21.7%増と、6か月連続で前年を上回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県央で増加したものの、県北、県南で減少した。有効求人倍率は県北が最も高く1.44倍、県央が1.20倍、県南が1.05倍となった。

区分	2020年8月		9月	
	前年比	前年比	前年比	前年比
新規求人計	7,019	△15.2	8,604	△3.3
製造業	572	△27.0	655	△31.1
食料品	98	△31.0	135	△36.9
繊維	116	△18.3	184	1.7
木材・木製品	18	△48.6	23	△47.7
電子部品・デバイス・電子回路	72	△2.7	44	△57.7
電気機械器具	20	△55.6	33	△38.9
情報通信機械	13	62.9	4	300.0
非製造業	6,447	△14.0	7,949	0.1
建設	935	4.4	1,226	6.6
情報通信	43	26.5	71	16.4
運輸、郵便	317	△17.7	268	△22.5
卸売、小売	1,254	△15.0	1,217	△19.4
宿泊、飲食サービス	585	△48.0	1,169	0.1
生活関連サービス、娯楽	166	△35.2	282	△25.0
医療、福祉	1,508	△9.0	1,872	10.0
サービス	625	△19.8	965	6.7
新規求職者数	3,197	△9.0	3,473	△9.6
有効求職者数	15,850	1.9	16,082	3.1

資料：秋田労働局職業安定課 (注) 臨時・季節を含む。

区分	2020年6月	7月	8月	9月
有効求人倍率	1.21	1.22	1.20	1.23
常用	1.05	1.09	1.18	1.18
パートタイム	1.24	1.25	1.23	1.23
全数(季調済)	409	339	366	230
事業主都合離職者数	66.9	0.6	188.2	21.7
前年比				

### 9月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

区分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比	前年比	前月比	前月比
県北	1,735	△3.7	1.44	0.03
県央	4,399	8.9	1.20	△0.01
県南	1,771	△19.0	1.05	0.05
合計	7,905	△1.6	1.21	0.02

(注) 臨時・季節を除く。